

北海道真駒内養護学校 進路だより

決める力・見る 聴く 感じる力・伝える力

つながる力・やる気 元気

発行日：第1号 令和4年6月24日

発行者：高等部 橋

今年度より進路支援に関わる全般的な情報提供や、各ステージのニーズに応じた具体的な取り組みなどの発信を目的に進路だよりを発行します。事業所情報や福祉サービス、卒業後の相談/卒業に向けての補装具修理・作製などの話題や掲示物についてふれてまいります。

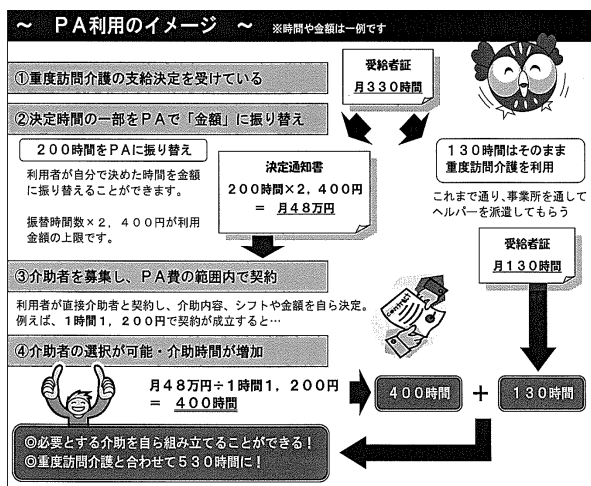
状況にあわせ、お子さまによりフィットする進路にむけて

ご入学・ご進級から早くも2か月がかけ巡りました。新しい出会いや環境のスタートにお子様自身そして保護者のみな様にとっても「次はこんなことにチャレンジしてみたい!」という気持ちや新たな目標に向けた意欲をお持ちになられたことと思います。引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を鑑みながら、日々の教育活動を安全に安心できるものとして展開してまいります。また、高等部においては、卒業後の生活をより具体的にイメージできることを目指して、生活体験実習が3年生からスタートしております。高等部全学年を共通して進路希望調査用紙をお配りし、居住区を拠点としたご希望の事業所での実習を調整しております。また、小・中学部の保護者のみな様には進路アンケートを募り、集約後担任間で情報共有させていただきました。保護者様のニーズに応じて個別に対応させていただきます。

今後、各キャリアステージに応じた進路説明会を計画しておりますが、福祉サービスについての素朴な疑問やご相談などがございましたら、担任または各学部の進路支援担当にお声がけください。

ご存知ですか？

札幌市PA 制度について



札幌市PA制度リーフレットより

現在、お子様は放課後等児童デイサービスに通われたり、日々の生活用途に応じて居宅介護などのサービスを利用されていると思います。しかし、お子様の身体が大きく成長し、“体重もぐんと重たくなった”“同居祖父母の介護がある”“保護者が働いていて”“体調不良で”等の理由から居宅介護の利用がタイムオーバーになってしまうことがあります。そこで、18歳以上になると、**重度訪問介護**を利用することができます。身体介護・家事援助・行動援護などを複合的に利用できる、その方に合わせた時間数の支援が受けられます。

PA制度とは、介助者や支援の時間を利用者に合わせて選択できる札幌市独自の社会福祉制度です。制度の説明をお手伝いしてくれるのが、**サポートセンター**です。また、どんな制度を、どう組み合わせ、どのような生活を送っていきたくのかを一緒になって考える所が**相談室**です。一緒に利用計画を作成し、学校や事業所をつなげていきます。

お子様のことを理解してくれる人を増やし、相談できる人や場所、様々な情報を得て、将来の自立をめざし、後押ししようとするものです。

PA サポートセンター

TEL 011-866-8066

E-mail cils@jvun.org

平日 9:00-17:00 (土日祝休)

進路Co より

今年度も引き続き、全体を日光が担当します。

わからないこと、お聞きになりたいこと何でもご相談下さい。



進路支援部 8 名どうぞよろしくお願いします!



小学部 中村 松岡

中学部 佐藤 川辺

訪問 宮崎

高等部 橋 日光

野上